

第1学年国語科学習指導案

1 単元名 こえにだしてよもう 「くじらぐも」

2 指導の考え方

— 子どもの実態 —

本学年の子どもたちはこれまでに、「はなのみち」「おむすびころりん」「おおきなかぶ」の3つの物語文の学習で、登場人物の行動を中心に、挿絵と叙述をつなぎながら内容の大体をとらえることができるようになってきている。しかし、叙述をもとに場面の様子を動作化したり、音読したりして、登場人物の様子や気持ちを想像を広げて読むことについては、まだ十分とはいえない。叙述から離れた恣意的な想像であったり、内容の理解が不十分なため表現できなかつたりする面が見られる。また、自分の考えがもてない、あるいは、話し方が分からずに話合いに参加できないという子どももいる。

— 教材の特質 —

本教材は、1年生の子どもたちとくじらが、体育の授業時間という身近な世界から空の世界へと舞台を変えて繰り広げる話である。読み手である子どもたちは、くじらと子どもたちがしたことを順に追いながら、互いに仲良くなっていく様子を、作中の1年生に同化しながら、想像豊かに読み進めていくことができる作品である。本教材の次のような特質を生かすことで、1年生のめざす力である「内容の大体（あらすじ）をとらえる力」「想像を広げながら読む力」を身につけさせることが期待できる。具体的には以下の6点である。

- ① 順序よく描かれた挿絵を手がかりに、叙述と対応させていくことで、登場人物の行動の順序を正しく捉えながら、場面や人物の様子を想像豊かに読み進めていくことができる。
- ② 「～が」「～は」「～も」という助詞を手がかりに人物がしたことをつかむことができる。
- ③ 会話文に気をつけることで、楽しく人物の気持ちを読み取ることができる。
- ④ 「もっとたかく。もっとたかく。」「どこまでもどこまでも」などの言葉の繰り返しに着目することで、様子や気持ちの高まりを読み取りやすい。
- ⑤ 「うみのほうへ むらのほうへ まちのほうへ」の行間を想像することによって、空の旅の時間と空間の広がりを読むことができる。
- ⑥ ひとまとまりの語や文として、はっきりとした発音で音読しやすい。

— 指導にあたって —

指導にあたっては、読むことの楽しさや価値を実感させることができるように、以下のような授業づくりを行う。

単元の入り口では、単元名の「こえにだしてよもう」から、まとめの時間に地域の方を招待して音読発表会をするという読む目的をもたせ、登場人物の様子や気持ちが分かるように音読しようというかまえをつくる。

読みのめあてをつくる段階では、まず題名と冒頭から、くじらのしたことを時間の順序に沿ってとらえることができるめあてを生み出させる。

読みのめあてに対する初めの考えをつくる段階では、くじらがしたことに線を引き、挿絵を並べ替えながら、くじらがしたことを中心にあらすじをとらさせる。

学習計画を立てる段階では、くじらがしたことに對して疑問に思うことを出し合って「はてなカード」をつくり、読み深める必要感をもたせ、これからの学習計画を立てていく。

読み深めの段階では、1時間の授業の展開を①読みのめあて②場面の音読③くじらがしたことを確認し、大事な言葉の視写をする④音読を効果的に行いながら、挿絵や叙述をもとに学習計画でた疑問を中心に、くじらと子どもたちの様子や気持ちを想像する(かっぱタイム・全体交流)、⑤今日の場面でもくわしく読み深めたことを書いてまとめる、という大きく5つの活動で行う。

読みのまとめの段階では、使った読み方をまとめ、一番好きな場面を紹介し音読の練習をする。単元の出口では、読み深めたことをもとに地域の人に音読発表会ができるようにする。

★焦点化

- くじらと子どもたちの会話に着目させる。
- くじらの行動を中心に読ませる。
- まとめでは、くじらの行動の様子と理由を書かせる。

★可視化

- 構造的な板書
 - ・くじらと子どもの位置関係を明らかにする。
 - ・会話文の文字の大きさをかえる。
 - ・様子と理由が分かるように赤チョークで囲み、番号をつける。
- 挿し絵や叙述をさしながら話をさせる。

★共有化

- 二人組で役割演技をしながら登場人物の様子を想像させる。
- 根拠を明らかにして話させる。

3 目標

- くじらと子どもたちの心が通じ合い、仲良くなっていく物語の楽しさを味わうことができるようにする。
- 挿絵と叙述（会話文や繰り返しの言葉、助詞の働きなど）をもとに、くじらがしたことを中心にあらすじをとらえながら、場面の様子を想像豊かに読む読み方を身に付けることができるようにする。
- 挿絵と叙述をつなぎ、音読や動作化をしたり二人組の対話をしたりしながら、くじらの様子や気持ちについて話し合うことができるようにする。

4 学習計画（全12時間）

次	時	学習活動と内容	教師の支援 (☆焦点化, 可視化, 共有化の視点から, ※評価規準)
一	1 / 12	<p>読みのめあて</p> <p>題名とお話のはじめから、読みのめあてをつくろう。</p> <p>1 単元名「こえにだしてよもう」について考える。</p> <p>2 題名と冒頭から、くじらの様子を読む。</p> <p>こえにだしてよもう くじらぐも（題名）</p> <p>なかがわりえこ さく</p> <p>挿絵とつないで</p> <p>四じかんめのことです。</p> <p>人物, 時, 場所を</p> <p>—ねんにくみの子どもたちがたいそうをしていると, 空に、大きなくじらがあらわれました。</p> <p>にたことばと比べる</p> <p>まっしろいくものくじらです。</p> <p>にたことばと比べる</p> <p>3 読みのめあてをつくる。</p> <p>読みのめあて</p> <p>空にあらわれたくものくじらが、なにをするおはなしだろう。</p>	<p>○ 単元名から、学習の仕方を話し合い、気持ちや様子を読み取り、まとめの時間に音読発表会をすることを知らせる。</p> <p>※ 挿絵や言葉のちがいがらくじらの様子を読み取り、読みのめあてをつくっている。</p>
二	2 ・ 3 ・ 4 / 12	<p>おはなしをさいごまでよんで、よみのめあてについてははじめのかんがえをまとめよう。</p> <p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>2 全文を読む。</p> <p>(1) 新出漢字や言葉の意味を確認する。</p> <p>(2) 正確にすらすら読めるように練習する。</p> <p>3 話の大体をつかみ、読みのめあてに対する初めの考えを書く。</p> <p>(1) くじらがしたことに線を引く。</p> <p>(2) 挿絵を順番に並べてお話の順序をつかむ。</p> <p>(3) 場面ごとに挿絵やサイドラインを手がかりにくじらがしたことを中心に初めの考えを書く。</p> <p>【初めの考え】</p> <p>①くじらぐもは、子どもたちといっしょにたいそうをはじめました。(たいそうくじら)</p> <p>②くじらぐもは、子どもたちをさそいました。(おさそいくじら)</p> <p>③くじらぐもは、子どもたちをおうえんしました。(おうえんくじら)</p> <p>④くじらぐもは、みんなをのせて空のなかをげんきいっぱいすすんでいきました。(およぐくじら)</p> <p>⑤くじらぐもは、みんなをジャングルジムにおろしてかえっていきました。(さよならくじら)</p>	<p>○ 教科書の持ち方や口形に気をつけて、はっきりした声ですらすら音読できるようにする。</p> <p>☆ 教科書にくじらのしたこと（～は～が～も）に線を引かせる。(焦点化)</p> <p>☆ 8枚の挿絵の最初と最後を意識づけ、全体の順序を確認させる。(可視化)</p> <p>※ 本文や挿絵をもとにお話の順序を正しくとらえ、あらすじを書いている。</p>

<p>三 学習計画</p>	<p>5 / 12</p>	<p>くじらがしたことをもとに、はてなをつくろう。</p> <p>1 本時のめあてを確認する。 2 くじらがしたことを中心に疑問を出し合い、詳しく読んでいきたいことを話し合い、学習計画を立てる。 【詳しく読んでいくこと】</p>	<p>☆ 場面ごとのくじらの行動を様子と理由を中心に疑問に思ふことやもっと知りたいことを出し合い、読み深めるめあてをつくらせる。(焦点化)</p>
<p>四 読み深め ①</p>	<p>6 / 12</p>	<p>くじらぐもがたいそうをする場面のお話をくわしく読もう。</p> <p>1 本時のめあてを確認する。 2 本時場面を読み、めあてについて話し合う。 (1) 本時場面を音読する。 (2) くじらがしたことを視写する。(書く活動①) (3) くじらが体操する様子を話し合う。</p> <p>「一、二、三、四。」</p> <p>くじら(も)たいそうをはじめました。← 子どもたち(か)たいそうをしてると、のびたり、ちぢんだり、しんこきゅうも 深呼吸は準備体操の最後</p> <p>くものくじら(も)、空をまわりました。← みんな(か)かけあしでうんどうじょうをまわると</p> <p>くじら(も)とまりました。← せんせいが～ みんな(か)とまったので</p> <p>くじら(も)、空でまわれみぎを← せんせいが～みんな(か)まわれ右をしたので</p> <p>「あのくじらは、きつとがっこうがすきなんだね。」まねをしたわけを考えさせる</p> <p>(4) くじらがまねをした理由を話し合う。(かっぱタイム・全体交流)</p> <p>3 学習のまとめをする。 (1) めあてに対する自分の考えを書く。(書く活動②)</p> <p>きょうのくじらさんはね、みんなとおなじようにたいそうをして、みんなのまねをしたんだよ。そのわけはね、みんなとなかよくなりたいたいと思っているからだよ。</p>	<p>※ くじらの行動についての疑問を考えている。</p> <p>○ 疑問を解決しながら、本時場面のお話を詳しくすることを意識させる。 ○ くじらがしたことのうち「くじらもたいそうをはじめました」を視写させる。(焦点化) ○ 「が」「も」から、子どもたちとくじらのしたことを対応させてくじらがまねしていることをとらさせる。</p> <p>☆ かっぱタイムでは、くじら役と子ども役に分かれて質問しながらなぜまねをしたのか理由を考えさせる。(共有化) ※ 登場人物に同化し、2人組でくじらと子どもの様子を想像している。 ○ 全体交流では根拠を明らかにして自分の考えを話させる。 ☆ 書く活動②で書かせたいことを赤チョークで囲み、書かせたい順番に番号を板書する。(可視化)</p>

		(2) 本時で使った「読みのたから」を確認する。	※ 書き出しを提示した学習プリントに、読み深めたことを順番に書きまとめている。
読み深め②	7 / 12 (3組本時)	<p>くじらぐもが子どもたちを空にさそう場面のお話をくわしく読もう。</p> <p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>2 本時場面を読み、めあてについて話し合う。</p> <p>(1) 本時場面を音読する。</p> <p>(2) くじらのしたことを視写する。 (書く活動①)</p> <p>(3) くじらが誘う様子を話し合う。</p> <p>・「おうい。」 ・「ここへおいでよう。」</p> <p>(4) 誘う理由を話し合う。 (かっぱタイム・全体交流)</p>	<p>○ 疑問を解決しながら、本時場面のお話を詳しくすることを意識させる。</p> <p>☆ 「はてな」に着目させるためにくじらがしたことのうち「くじらもさそいました。」を視写させる。(焦点化)</p> <p>○ 「おうい。」を音読しながら動作化させることでくじらと子どもたちの位置を確認させる。</p> <p>○ 「ここへおいでよう。」の会話文に 言葉を考えさせる。</p> <p>☆ かっぱタイムでは、くじら役と子ども役に分かれて質問しながら空に誘った理由を考えさせる。(共有化)</p> <p>※ 登場人物に同化し、2人組でくじらと子どもの様子を想像している。</p> <p>○ 全体交流では根拠を明らかにして自分の考えを話させる。</p>
		<p>「おうい。」と、くじらもこたえました。 下へ</p> <p>「ここへおいでよう。」 空へ</p> <p>指示語を読む 会話文を読む</p>	<p>「おうい。」と、よびました。 上へ</p> <p>まねではなく、返事をしたということ</p> <p>「ここへおいでよう。」 運動場へ</p> <p>みんながさそいと、 ここへおいでようの後に言った言葉を考えさせる。 その後、どうしてそんなふうにしたのか考えさせる。</p> <p>「よかったです。くものくじらにとびのろう。」</p>
		<p>3 学習のまとめをする。</p> <p>(1) めあてに対する自分の考えを書く。 (書く活動②)</p>	<p>☆ 書く活動②で書かせたいことを赤チョークで囲み、書かせたい順番に番号を板書する。(可視化)</p>
		<p>きょうのくじらさんはね、「ここへおいでよう。空でみんなであそぼうよ。」と、いっしょうけんめいに手をふって、みんなを空へさそったんだよ。そのわけはね、空で一に遊びたいと思ったからだよ。</p>	
		(2) 本時で使った「読みのたから」を確認する。	※ 書き出しを提示した学習プリントに、読み深めたことを順番に書きまとめている。
読み深め③	8 / 12	<p>くじらぐもが応援する場面のお話をくわしく読もう。</p> <p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>2 本時場面を読み、めあてについて話し合う。</p> <p>(1) 本時場面を音読する。</p> <p>(2) くじらのしたことを視写する。 (書く活動①)</p> <p>(3) 応援する様子を話し合う。</p> <p>(4) 応援した理由を話し合う。 (かっぱタイム・全体交流)</p>	<p>○ 疑問を解決しながら、本時場面のお話を詳しくすることを意識させる。</p> <p>☆ 「はてな」に着目させるためにくじらがしたことのうち「くじらがおうえんしました。」を視写させる。(焦点化)</p> <p>○ 気持ちの高まりを「もっとたかくもっとたかく。」の音読や動作化で表現させる。</p> <p>☆ かっぱタイムでは、くじら役と子ども役に分かれて質問しながら応援する理由</p>

		<p>を考えさせる。(共有化)</p> <p>※ 登場人物に同化し、2人組でくじらと子どもの様子を想像している。</p> <p>○ 全体交流では根拠を明らかにして自分の考えを話させる。</p>
<p>読み深め④</p> <p>／12 (2組本時)</p>	<p>くじらぐもがげんきいっぱいすすんだ場面のお話をくわしく読もう。</p> <p>1 本時のめあてを確認する。</p> <p>2 本時場面を読み、めあてについて話し合う。</p> <p>(1) 本時場面を音読する。</p> <p>(2) くじらがしたことを視写する。(書く活動①)</p> <p>(3) くじらが子どもたちとげんきいっぱい空をぐ様子を話し合う。(かっぱタイム・全体交流)</p> <p>(4) くじらが元気いっばいにいだ理由を話し合う。</p> <p>「さあ、およぐぞ。」 くじらは、あおいあおい空のなかを、げんきいっぱいすすんでいきました。 うみのほうへ、 むらのほうへ、 まちのほうへ。</p> <p>みんなは、うたをうたいました。 空は、どこまでもどこまでもつづきます</p> <p>3 学習のまとめをする。</p> <p>(1) めあてに対する自分の考えを書く。(書く活動②)</p>	<p>「天までとどけ、一、二、三。」 やっと、三十センチぐらい</p> <p>「もつとたかく。もつとたかく。」 と、くじらがおうえんしました。</p> <p>繰り返しながら、気持ちが高まっている。(音読の)</p> <p>「天までとどけ、一、二、三。」 こんどは、五十センチぐらい。</p> <p>「もつとたかく。もつとたかく。」 繰り返しを読む</p> <p>「天までとどけ、一、二、三。」 そのときです。いきなり、かぜが、みんなを空へふきとばしました。 せんせいと子どもたちは、手をつないだままくものくじらにのっていました。</p> <p>3 学習のまとめをする。</p> <p>(1) めあてに対する自分の考えを書く。(書く活動②)</p> <p>☆ 書く活動②で書かせたいことを赤チョークで囲み、書かせたい順番に番号を板書する。(可視化)</p> <p>きょうのくじらさんはね、下を見て、ひれを大きく振ったり「もつとたかく。もつとたかく。」と大きな声でがんばれって一生懸命に応援したんだよ。そのわけはね、みんなを に せて一 に遊びたかったからだよ。</p> <p>(2) 本時で使った「読みのたから」を確認する。</p> <p>※ 書き出しを提示した学習プリントに、読み深めたことを順番に書きまとめている。</p> <p>○ 疑問を解決しながら、本時場面のお話を詳しくすることを意識させる。</p> <p>☆ 「はてな」に着目させるためにくじらがしたことのうち「げんきいっぱいすすんでいきました。」を視写させる。(焦点化)</p> <p>☆ かっぱタイムでは、くじら役と子ども役に分かれて会話しながら空をぐ様子を考えさせる。(共有化)</p> <p>※ 登場人物に同化し、2人組でくじらと子どもの様子を想像している。</p> <p>○ 全体交流では根拠を明らかにして自分の考えを話させる。</p> <p>※くじらと子どもたちの気持ちのつながり</p> <p>☆ 書く活動②で書かせたいことを赤チョークで囲み、書かせたい順番に番号を板書する。(可視化)</p>

		<p>きょうのくじらさんはね、にこにこしてしつ を大きくふって元気いっぱい いたんだよ。元気いっぴいにすすんだわけはね、みんなとー に いで空をおよげてうれしかったし、みんなが んでくれてうれしかったからだよ。</p> <p>(2) 本時で使った「読みのたから」を確認する。</p>	<p>※ 書き出しを提示した学習プリントに、読み深めたことを順番に書きまとめている。</p>
読み深め⑤	10 / 12 (1組本時)	<p>くじらぐもがさよならする場面のお話をくわしく読もう。</p> <p>1 本時のめあてを確認する。 2 本時場面を読み、めあてについて話し合う。 (1) 本時場面を音読する。 (2) くじらがしたことを視写する。(書く活動①) (3) くじらが子どもたちとさよならする様子を話し合う。 (4) くじらが元気いっぴいになって行った理由を話し合う。(全体交流・かっぱタイム)。</p>	<p>○ これまでの場面をつないで、叙述や挿絵に着目して読ませる。</p> <p>☆ 「はてな」に着目させるためにくじらがしたことのうち「げんきにかえっていききました。」を視写させる。(焦点化) ○ くじらがしたこと(3つ)の様子を挿絵と叙述をつないで考えさせる。 ☆ かっぱタイムでは、くじら役と子ども役に分かれて質問しながら元気よくって行った理由を考えさせる。(共有化) ※ 登場人物に同化し、2人組でくじらと子どもの様子を想像している。 ○ 全体交流では根拠を明らかにして自分の考えを話させる。</p>
		<p>「おや、もうおひるだ。」せんせいが、<u>～おどろくと</u> 「では、かえろう。」くじらは、まわれみぎをしました。 くじらは、<u>ジャングルジムの上に</u>、みんなをおろしました。 「さようなら。」 「さようなら。」 くものくじらは、<u>また、げんきよく、あおい空のなかへかえっていききました。</u> <u>挿絵を読む</u> ※なぜ元気よくって行ったのか、これまでの場面をつないで考えさせる。 <u>場面と場面をつないで読む</u></p>	
		<p>3 学習のまとめをする。 (1) めあてに対する自分の考えを書く。(書く活動②)</p>	<p>☆ 書く活動②で書かせたいことを赤チョークで囲み、書かせたい順番に番号を板書する。(可視化)</p>
		<p>きょうのくじらさんはね、学校へ ーるためにまわれみぎをして、子どもたちがけがをしないようにやさしくジャングルジムにおろして、手 をふりながら元気よく っって行ったよ。元気よく っっていったのはね、みんなが んでくれたり、一生懸命に手を振ってくれたりしたことがうれしかったからだよ。</p> <p>(2) 本時で使った「読みのたから」を確認する。</p>	<p>※ 書き出しを提示した学習プリントに、読み深めたことを順番に書きまとめている。</p>
読みのまとめ	11 / 12	<p>読みと読み方のまとめをしよう。</p> <p>1 読みのめあてにもどり、くじらと子どもたちがどんなことをしたのかまとめ、自分の好きな場面を紹介し合う。 2 本単元で使った読み方をふりかえる。</p>	<p>※ 自分の好きな場面を紹介している。 ※ はっきりとした声で、様子や気持ちがわかりやすいように音読している。</p>
	12 / 12	<p>音読発表会をしよう。</p> <p>1 地域の人に音読を発表する。</p>	<p>※ はっきりとした声で、様子や気持ちがわかりやすいように音読している。</p>

9 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援 (☆焦点化☆可視化☆共有化※評価規準)
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="181 398 810 470" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>くじらぐもがさよならするばめんのおはなしをくわしくよもう。</p> </div> <p>2 本時場面を読み、くじらがさよならする様子や理由を話し合う。 (1) 本時場面を音読する。 (2) くじらがしたことを視写する。 (書く活動①) (3) 子どもたちと空を いた後、 っていくくじらの様子について話し合う。 ・まわれみぎをした様子 ・ジャングルジムにおろした様子 ・元気に っていく様子 (4) 元気よく っていく理由を話し合う。 (かっぱタイム・全体交流) (かっぱタイム)</p> <div data-bbox="181 1160 810 1400" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>子ども「ねえねえくじらさん、どうしてさよならするのにそんなに元気よく っていくの」 くじら「だってみんなといろいろな所へ行って楽しかったし、みんなと仲良くなれてうれしいんだもん」</p> </div> <p>3, 本字学習をまとめる。 (1) 本時学習を振り返り、書きまとめ、発表する。 (書く活動②)</p>	<p>○ 前時学習を想起し、本時学習の見通しをもてるようにする。</p> <p>○ 「はてなカード」を位置づけ、くわしく読むめあてにつながるようにする。</p> <p>☆ 「はてな」に着目させるためにくじらがしたことのうち「げんきにかえっていきました。」を視写させる。(焦点化)</p> <p>○ 叙述とさし絵をつないで考えさせる。</p> <p>☆ かっぱタイムでは、くじら役と子ども役に分かれて質問しながら元気よく っていく理由を考えさせる。(共有化)</p> <p>○ 全体交流では、子どもたちが楽しかったことがわかる「もうおひるだ」「おどろく」という叙述に着目させ、子どもたちが時間を れるほど楽しんでいたことに気付かせそのことがくじらは しかったことをとらさせる。</p> <p>○ ジャングルジムの挿絵から子どもたちが 一見 ってくれていることに気付かせ一生懸命に見 ってくれていることがうれしいことをとらさせる。</p> <p>☆ 様子とわけを分けて板書し、赤チョークで囲んで番号をつけ、その番号順に書かせる。(可視化)</p>
<div data-bbox="181 1706 1417 1843" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>きょうのくじらさんはね、学校へ するためにまわれみぎをして、子どもたちがけがをしないうちにやさしくジャングルジムにおろして、手 をふりながら元気よく っていくよ。 元気よく っていくのはね、みんなが んでくれたり、一生懸命に手を振ってくれたりしたことがうれしかったからだよ。</p> </div>	
<p>(2) 本時で使った「読みのたから」を確認する。 ・さし絵と言葉をつないで読む。 ・場面と場面をつないで読む。</p>	<p>※ 叙述と挿絵をつないだり場面と場面をつないだりしながら、くじらが元気に っていく様子や気持ちを書きまとめている。</p>

5 本時 (9 / 12)

公開授業① 読み深め④

6 本時の目標

- くじらと子どもたちが驚きや感動がいっぱいの空の世界を旅する楽しさを、挿絵を読んだり行間を読んだりすることによって読み深めることができる。
- 二人組みで役割演技をしながら、子どもと空の世界を楽しむくじらの様子やわけを話し合い、読み取ることができる

7 本時指導の考え方

前時までに児童は、くじらが子どもたちと一緒に遊びたいと強く願って応援していることを会話の繰り返しを読むことで読み深めている。

本時は、くじらの背に乗った子どもたちが、くじらと共に空から色々な景色を見て、空の世界を楽しむ場面である。

そこで、本時指導にあたっては、まず、本時場面を音読し、くじらのしたことを視写し（書く活動①）本時、読み深めることを確認する。次に、くじらのにこにこしている顔や尾びれをくねらせているところ、勢いよく潮を吹いていることに気付かせ、「げんきいっぱい」空を泳ぐくじらの様子を読み取らせたい。さらに、挿絵を見て自分がどこにいるのか決めさせ、子どもたちに同化させる。ここで、「うみのほうへ、むらのほうへ、まちのほうへ。」行たくじらと子どもたちの様子を具体的に想像させ、行間を読ませたい。（**焦点化**）そのために、スクリーンに宇宙から撮影された校区の写真を見せ、考える手立てとする。（**可視化**）ここでは、二人組みでくじらと子どもになって対話をし（かっぱタイム）、楽しんで空の旅を想像できるようにする。（**共有化**）

その後、全体で互いの考えを交流し、教師側からくじら役の児童へ発問をし、喜んでいる子どもたちを見て嬉しく思うくじらの気持ちを引き出すようにする。そして、二つ目の「はてな」である、なぜくじらは「げんきいっぱい」すすんでいったのかを考えさせる。くじらの気持ちとつないで考えさせ、子どもたちと一緒に過ごしたことを喜んでいることを読み取らせたい。

最後に、読み深めて詳しくなったお話を書きまとめさせる。（書く活動②）くじらの様子を①②、元気いっぱい進んだわけを③として板書し、書きまとめる手立てとする。

8 板書計画

①

「さあ、およぐぞ。」

くじらは、あおい あおい 空のなかを、げんき いっぱいすすんで いきました。

あいだを かんがえよ

・がっこうが みえたよ
・しまが みえるね なんでもしまう

うみの ほうへ、②

・きが いっぱいある
・おぼあやんちみたい

むらの ほうへ、

・てんじんた
・ぼくのいそみえをよ

まちの ほうへ。

③

みんなとつよにけしきをみてうれしかったから

みんなは、うたをうたいました。

みんなは、うたをうたいました。

・ずつとむこう・いろんなところ

空は、どこまでもどこまでも つづきます。

まとも

きょうのくじらさんはね、げんきいっぱいすすんでいったわけはね、

くじらぐもの挿絵

にこにこしてほおふおてをいって

くじらぐも

なかがわりえこ

9 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援 (☆焦点化・可視化・共有化の視点から※評価規準)
<p>1 本時学習のめあてを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>くじらぐもがげんきいっぱいすすんでいったばめんのおはなしをくわしくよもう。</p> </div> <p>2 本時場面を読み、くじらが子どもたちと空を泳ぐ様子や理由を話し合う。</p> <p>(1) 本時場面を音読する。</p> <p>(2) くじらがしたことを視写する。 (書く活動①)</p> <p>(3) くじらが泳ぐ様子を話し合う。 (かっぱタイム・全体交流)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「うみのほうへ」「むらのほうへ」「まちのほうへ。」の行間を読み、くじらと子どもたちの様子を話し合う。 (かっぱタイム) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>子ども「うわあ。ぼくの家があった。海に島が見えるよ。あっちに行ってみたいな。」 くじら「じゃあ行くよ。つかまってね。」</p> </div> <ul style="list-style-type: none"> ・ 「うみのほうへ」行った様子を話し合い、続いて「むら」、「まち」と体験しているように、次々と発表させる。 <p>(4) くじらが元気いっぱい泳いだわけを話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 子どもたちが喜んでくれて嬉しい。 ・ 子どもたちと一緒に遊べて楽しい。 <p>3 本時学習をまとめる。</p> <p>(1) 本時学習を振り返り、書きまとめ、発表する。 (書く活動②)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>きょうのくじらさんはね、にこにこして、しっぽを大きくふって、とっても速いスピードで元気いっぱい泳いだんだよ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>僕の家の上も泳いだよ。海の上には、島も見えたよ。</p> </div> <p>げんきいっぱいすすんでいったわけはね、みんなと一緒に泳いで嬉しかったし、みんなが喜んでくれて嬉しかったからだよ。</p> </div>	<p>○ 前時、学習を想起し、本時学習の見通しをもてるようにする。</p> <p>○ 「はてなカード」を位置づけ、くわしく読むめあてにつながるようにする。</p> <p>○ 「はてな」に着目させるため、「くじらは、…げんきいっぱいすすんでいきました。」を視写させる。</p> <p>○ 挿絵の子どもたちから、自分は何の子ともなるか選ばせ、同化させる。</p> <p>☆ 行間を読ませ、くじらと子どもの様子を想像させる。(焦点化)</p> <p>☆ スクリーンに衛星写真を出し、空から海を見る体験ができるような場を設定する。(可視化)</p> <p>○ スクリーンの写真を動かし、実際に雲の上から景色を見下ろしているようにすることで、登場人物の感動や驚きを想像しやすいようにする。</p> <p>☆ 二人組みでくじらと子どもになって対話をさせる。(共有化)</p> <p>○ かっぱタイムで話し合ったことを発表させる。</p> <p>○ くじらぐもと子どもたちが楽しんでいた様子をつないで考えさせる。</p> <p>○ くわしくなったくじらの様子を赤チョークで囲み、様子、わけの順番に番号を板書し、書きまとめさせる。</p>
<p>(2) 本時で使った「読みのたから」を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 挿絵を読む ・ 行間を読む ・ 繰り返しを読む 	<p>※ 叙述と挿絵をつないだり場面と場面をつないだりしながら、くじらと子どもが空の旅を楽しんでいる様子や気持ちを書きまとめている。</p>

5 本時（7／12）

公開授業① 読み深め②

6 本時の目標

- 子どもたちを一生懸命空へ誘うくじらの様子や気持ちを会話文や叙述の助詞や指示語、動詞に着目させながら想像し読み深めることができるようにする。
- 二人組で役割演技をしながら、一生懸命空へ誘うくじらの様子やわけを楽しく想像しながら読むことができるようにする。

7 本時指導の考え方

前時までに子どもたちは、学校が好きだから学校に来て、みんなの体操を真似したくじらの様子や気持ちを読み深めている。

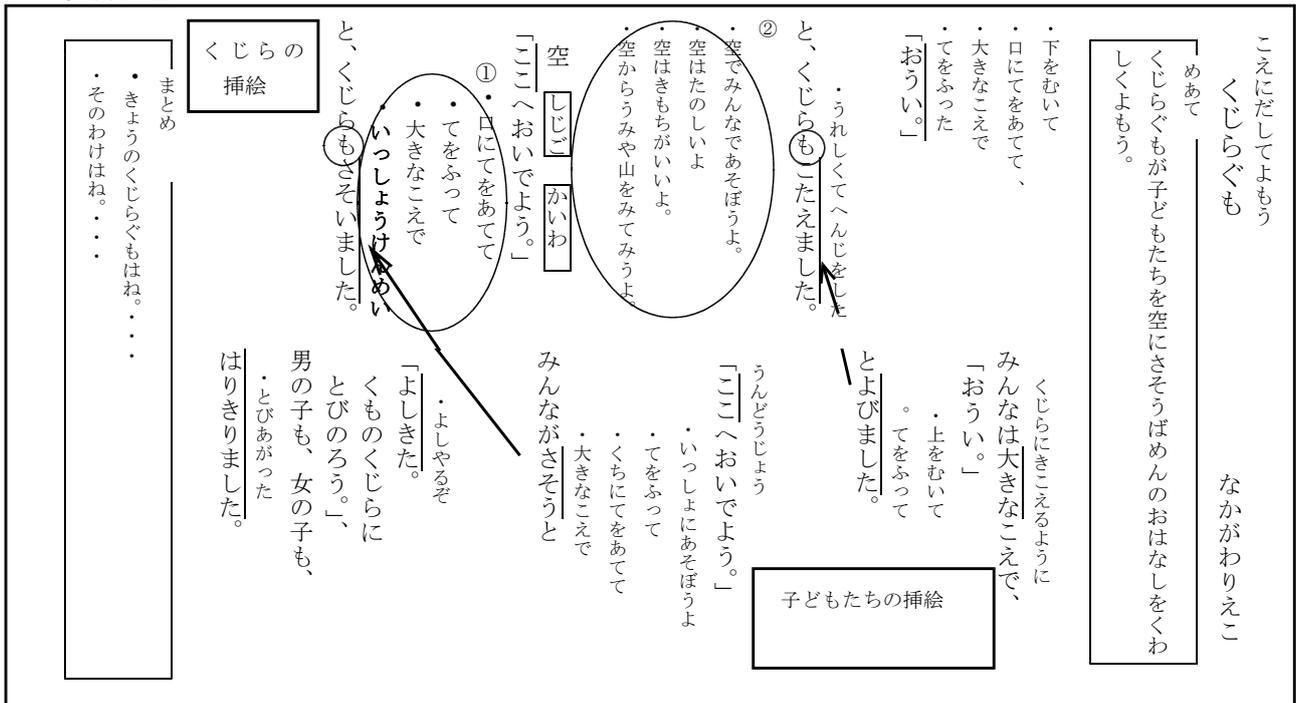
本時は、そんなくじらがみんなを空に誘う場面で、くじらと子どもたちの言葉の掛け合いから、くじらが一生懸命に子どもたちを空に誘う様子や気持ちを読み深めていく。

そこで、本時指導にあたっては、本時のめあてを確認し、おうちの人に今日のくじらぐもの様子や気持ちを書いて伝えるという見通しを持たせた後、本時場面を音読する。そして、くじらのしたことに着目させ、「はてなカード」につながる「くじらもさそいました。」を視写させる。**（焦点化）**（書く活動①）

次に、子どもたちを誘うくじらの様子や気持ちについて話し合わせていく。一つ目の「はてな」である「くじらはどのように誘ったのか。」を役割音読や動作化から考えさせる。全体でくじらの誘う様子を動作化した後、顔の向きや手の動かし方などを表現している子を指名して発表させる。その際、くじらの位置と子どもたちの位置を確認させ、「ここへおいでよう。」の「ここ」がそれぞれ違う場所であることに気付かせる。二つ目の「はてな」である「どうして誘ったのか。」についてはかっぱタイムの二人組の対話（役割演技）で考えさせる。まず、教師が子ども役になり「運動場で遊ぼうよ。」「空は怖いな。」など投げかけくじら役の子どもたちとのやり取りのモデルを示し、くじら役、子ども役の二人組で対話させ、「空は楽しいよ。」「空は気持ちがいいから絶対に来て。」などの気持ちを引き出していくようにしていきたい。**（共有化）**さらに、くじらの一生懸命さが伝わったかどうか聞き、「よしきた。」「はりきりました。」に気付かせていく。

最後に、本時の学習を振り返り、くわしくなったくじらの様子を赤チョークで囲み、書かせたい順番に番号で板書に位置付ける。**（可視化）**読み深めたくじらの様子や気持ちを「くじらさんはね、…」の書き出しを与え、書きまとめさせる。**（書く活動②）**最後に本時で使った読み方をまとめる。

8 板書計画



9 本時の展開

学習活動と内容	教師の支援 (☆焦点化・可視化・共有化の視点から※評価規準)
<p>1 本時のめあてを確認する。</p> <div data-bbox="181 360 810 439" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>くじらぐもが子どもたちを空にさそうばめんのおはなしをくわしくよもう。</p> </div> <p>2 本時場面を読み、くじらが子どもたちを誘った様子と理由を話し合う。</p> <p>(1) 本時場面を音読する。</p> <p>(2) くじらがしたことを視写する。 (書く活動①)</p> <p>(3) くじらが誘う様子を話し合う。 ・「おうい。」とこたえる様子 ・「ここへおいでよう。」と誘う様子</p> <p>(4) くじらが誘う理由を話し合う。 (かっぱタイム・全体交流) (かっぱタイム)</p> <div data-bbox="181 1111 810 1384" style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>子ども「くじらさん、うんどうじょうであそぼうよ。ド ジ ールはたのしいよ。」 くじら「空はもったのしいよ。いろんなものが見えるよ。」 子ども「でも空はこわいよ。」 くじら「空は気持ちいいよ。ぼくの 中にのせてあげるからおいでよ。」</p> </div> <p>3 本時学習をまとめる。</p> <p>(1) 本時学習を振り返り、書きまとめ、発表する。 (書く活動②)</p>	<p>○ 前時のまとめを振り返り、「くじらは子どもたちをどのように誘ったのだろう」「なぜ誘ったのだろう」という「はてな」を解決して、今日のくじらのお話を詳しくおの人に伝えることを確認し、見通しを持たせる。</p> <p>○ くじらの様子を想像しながら読むように指示する。</p> <p>☆ 「はてな」に着目させるためにくじらがしたことのうち、「くじらもさそいました」を視写させる。(焦点化)</p> <p>○ くじら役、子ども役になって「おうい。」を音読し、動作化させることで、子どもたちと楽しく会話をしている様子を捉えさせる。</p> <p>○ くじらが子どもたちを誘う様子を動作化することでどのように誘ったのか考えさせる。</p> <p>○ 会話の きを考えさせ、一生懸命誘うくじらの気持ちを捉えさせる。</p> <p>○ 初めに が子ども役になり、くじら役の子とモデルを示す。</p> <p>○ かっぱタイムではくじら役と子ども役になって対話することで、一生懸命誘うくじらの気持ちを引き出させる。</p> <p>☆ 全体交流では、かっぱタイムでの対話を発表させ、くじらが空へ誘う理由を捉えさせる。(共有化)</p> <p>○ 子どもたちにくじらの一生懸命に誘う気持ちが通じたかを叙述から考えさせ、「はりきりました。」を動作化させることで、子どもたちやくじらの気持ちが高まっていることに気付かせる。</p> <p>☆ くわしくなったくじらの様子を赤チョークで囲み、様子、わけの順番に番号を板書し、書きまとめさせる。(可視化)</p> <p>○ 「きょうのくじらぐもはね。…」という書き出しを与える。(書く活動②)</p>
<p>(2) 本時で使った「読みのたから」を確認する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 助詞や指示語を読む。 ・ 会話文を読む。 	<p>※ 会話文や叙述の助詞や指示語・動詞に着目しながら一生懸命に誘うくじらの様子や気持ちを書きまとめている。</p>
<p>きょうのくじらさんはね。てをふったり、大きな声を出したりして、いっしょうけんめいにみんなを空へさそったんだよ。 そのわけはね、空は気持ちがいいし、空でみんなと一 に遊びたいと思ったからだよ。</p>	